

一般社団法人宮城県測量設計業協会 令和4年度 事業方針

～ ふるさと宮城に確かな未来を ～

当協会は“ふるさと宮城に確かな未来を”をスローガンに、次の3つの事業方針に沿った協会活動を推進する。

なお、新型コロナウイルス感染症の対策については、基本的な感染予防対策を継続し、政府や自治体の要請等に協力しながら、協会事業を推進する。

一般社団法人宮城県測量設計業協会 令和4年度 事業方針

- 1 会員の経営環境の改善
- 2 技術力の向上
- 3 災害対応力の強化

1 会員の経営環境の改善

当協会及び会員は、経営環境や就業環境の改善に向け、次の取り組みを行う。

- (1) 法令等の順守と社会的責任の徹底に関する取り組み。
- (2) 入札契約制度・業務履行環境の改善に関する調査・研究及び、意見交換会の開催。
- (3) 多様な働き方に関する調査・研究。
- (4) 産学官の連携強化や、他団体との連携強化。
- (5) 担い手確保や業界認知度向上のための広報活動

2 技術力の向上

当協会及び会員は、建設関連業の重要な役割を踏まえ、次の取り組みを行う。

- (1) 技術力の向上と継続的な技術研鑽に関する取り組み。
- (2) 業務成果の品質確保・品質向上に関する取り組み。
- (3) 技術者の育成に関する取り組み。
- (4) 資格取得の推進に関する取り組み。

3 災害対応力の強化

当協会及び会員は、建設関連業の重要な役割を踏まえ、次の取り組みを行う。

- (1) 災害発生時には協会員が密に連携し、一丸となって災害業務に対応する。
- (2) 災害時のマンパワー不足解消に向けた取り組み。